

みやぎ観光振興会議仙南圏域会議
みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議
ワーキンググループ名簿

資料2

五十音順, 敬称略

氏名	所属/職名	備考
イチジョウ チカコ 一條 千賀子	みやぎおかみ会幹事 (鎌先温泉時音の宿湯主一條 女将)	
イトウ ジュン 伊藤 淳	一般社団法人宮城インバウンドDMO常務理事	
イマイ ケイチ 今井 恵一	株式会社まちづくり角田事業部長 (道の駅かくだ駅長)	
オオミヤ トシユキ 大宮 利幸	株式会社タケヤ交通 代表取締役社長	
オノデラ タクヤ 小野寺 拓弥	株式会社ヒルズ取締役	
シマザキ ヨウジ 嶋崎 康二	一般社団法人かかしの一本足かえるのあぐら代表理事 (柚子のあぜ道雨乞のかえる)	
ミヤハラ イクコ 宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授	
ムラカミ ヒロシ 村上 博	一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター常務理事 (道の駅村田事務局長)	

第1回WG

日時:令和2年10月8日(木)午後2時～

場所:大河原合同庁舎301会議室

参加者:一條委員, 伊藤委員, 今井委員, 大宮委員, 小野寺委員, 嶋崎委員, 村上委員

第2回WG

日時:令和2年11月11日(水)午後2時～

場所:大河原合同庁舎201会議室

参加者:一條委員, 今井委員, 大宮委員, 嶋崎委員, 村上委員

県南の独自性を活かし、県南でしか体験できないものや県南地域を結ぶことで得られる来訪者の楽しさや感動を持てるモデルコースを参加メンバーが共に考え、実現化に向け活動を行う。

地域には収益の向上を、お客様には感動を。

1ステップ

メンバーそれぞれの思いを意見を通して提案。

- 地域としての将来像（どうなったらうれしいのか）
- 仙南地域の底上げが重要（誘客力と魅力度）
- 旅館などの宿泊施設を地域情報発信源に。
- 仙南地域は、農業地域であり、農業体験などと道の駅の組合わせは。

2ステップ

県南地域誘客イメージの創出と共有

それぞれの立場や経験から意見発表

↓
県南のイメージから誘客策を膨らませながら議論

↓
仙南らしさを土台に具体的な方法を議論

結果

情報

- ✓ 地域カレンダーの作成
- ✓ 紙とWEBで発信
- ✓ 配布先は、宿泊施設と道の駅、観光施設などで
- ✓ 各企業、施設などのHPとのリンク
- ✓ 宿泊先での情報発信

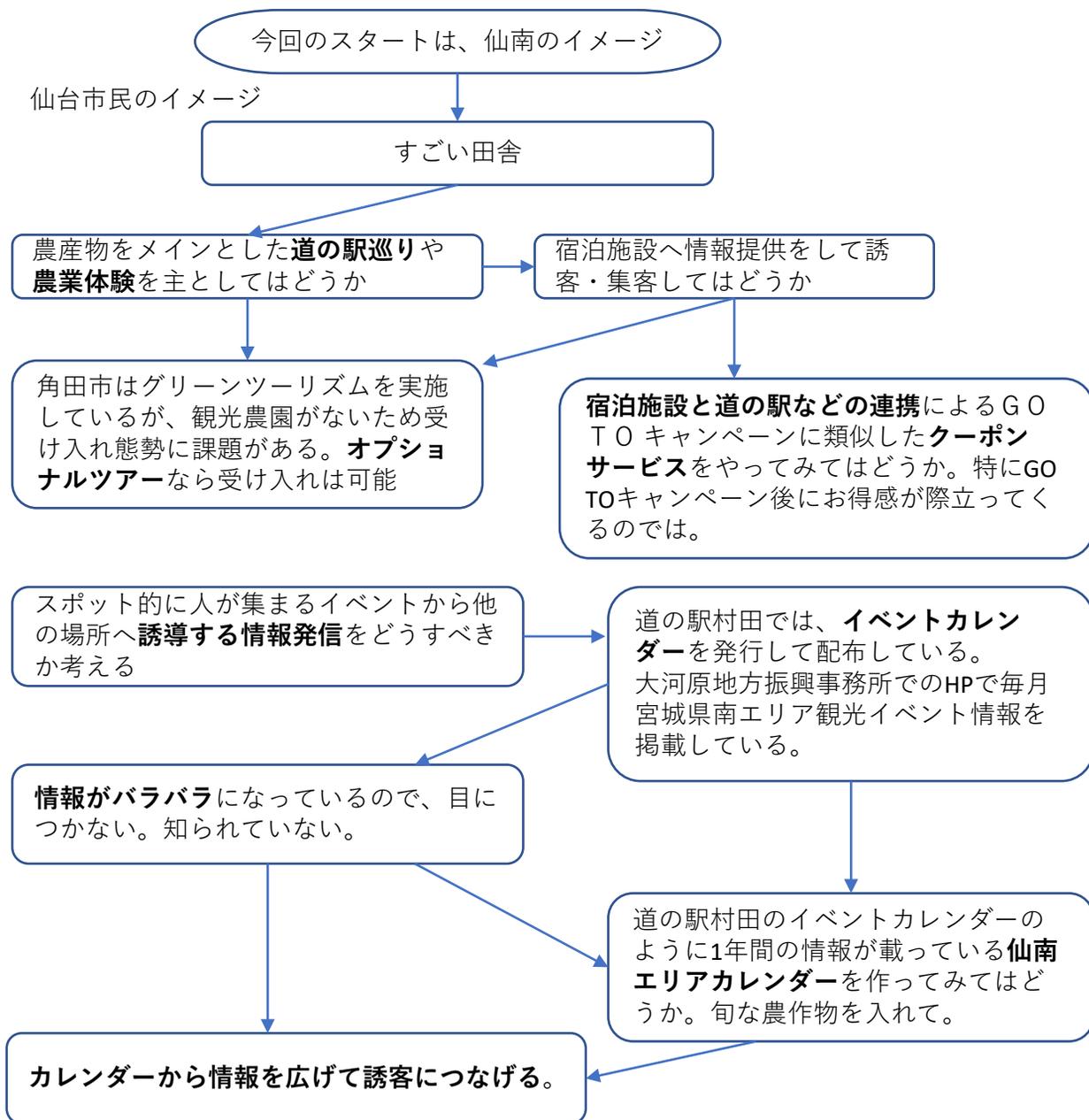
プラン

- ✓ 農産物を中心とした買物や体験での誘客
- ✓ 季節により他のコンテンツと組合せた（花やイベントや体験など）宿泊プラン
- ✓ 地域をつなぐモデルプラン

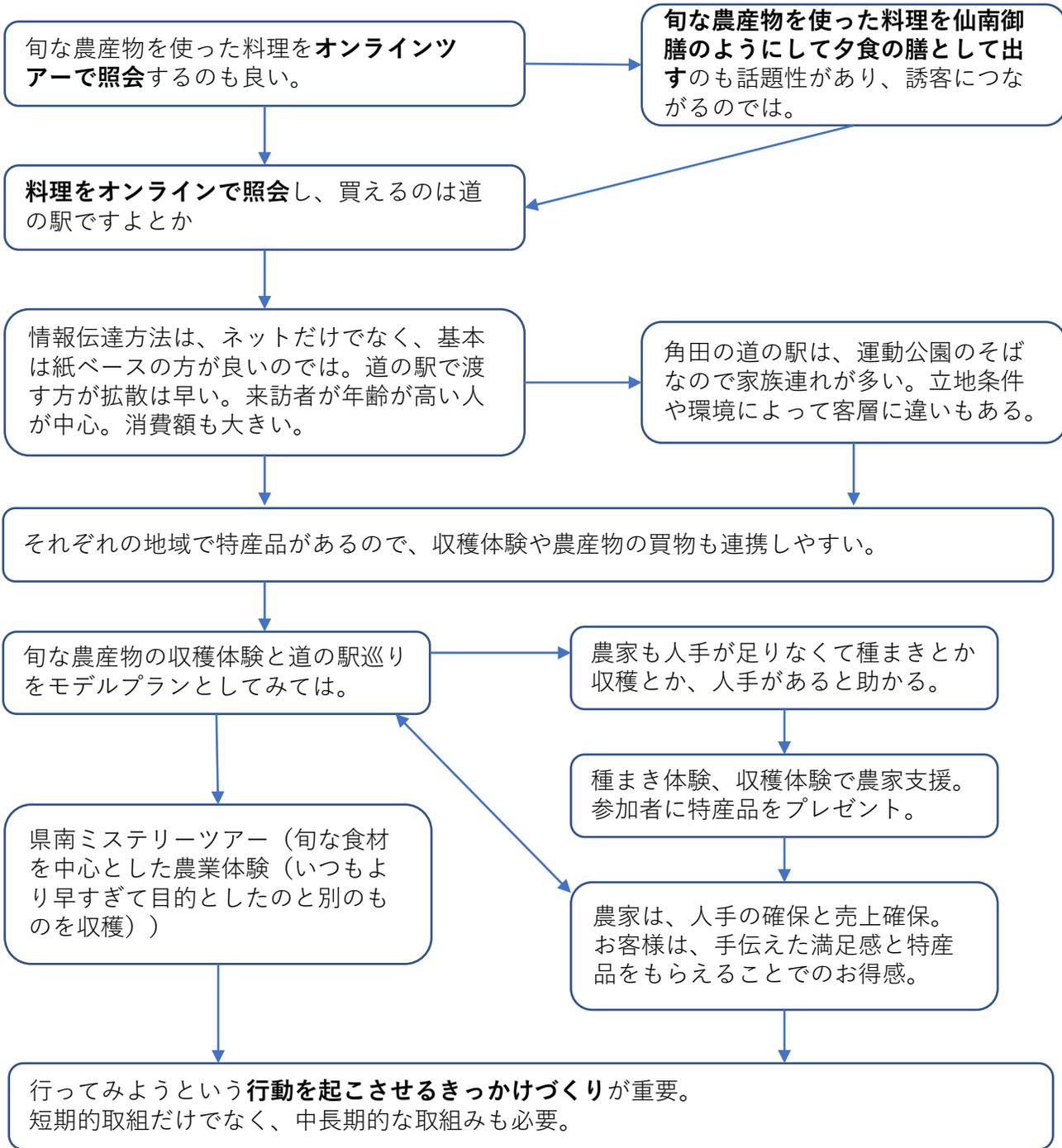
2ステップのOUTPUT（得られたもの）

- 他地域との差別化（県南地域特性を活かした道の駅巡りと農業体験）
- 情報の一元化（県南カレンダー（農作物の収穫時期とイベント情報など））
- 地域間組織間連携方法（道の駅の連携、農家と道の駅と宿泊施設）
- 情報伝達ルート（宿泊施設からお客様へ、道の駅からお客様へ（紙ベース）、大河原地方振興事務所HPと各企業、宿泊施設、観光施設等HPとのリンク）
- 今持っている資源の組合せと活用方法
- メンバーとプランを作り上げる楽しさ、ワクワク感
- 次回に向けての具体的な行動など

討論内容と推移



地域特性を活かしながら情報発信での課題と解決に向けた方法を論議



次回に向けて

クーポンを作成するための費用を見積もってみる。

今日の内容を旅行会社に話し、感想を聞いてみる

冬の間ではアイデアを出し、春以降にオプションツアー実施に向けて活動を続ける

地域内アクセスは、オンデマンド方式での公共交通網を検討してみてもいい。

プランにより想定される地域メリットと来訪者の効能へ到達。